

第14回「イクメンの星」に選定された齊藤良太さんのプロフィールと体験談

ニックネーム	よしきぱぴー
本名	齊藤 良太 (さいとう りょうた)
職業	会社員
年齢	30歳
イクメン宣言	
<p>共働きで、奥さんがデパート勤務のため土日はおおむね子供と一緒に過ごしています。子供にさみしいと思わせないことをゴールにして日々子育て頑張っています！</p>	
育休・育児体験談	
<p>息子は3歳11か月、現在妻は第2子を妊娠中です。</p> <p>私の月曜日から金曜日の育児への参加は、朝7時に起床し、朝食と、息子と妻のお弁当を作り、8時には身重の妻に代わって幼稚園へ息子を送る事がコアアクティビティです。仕事の目途がつけば、幼稚園の迎えも行くこともあります(月に2,3回程度)。</p> <p>我が家は共働きで、妻がデパート勤務で土日不在のため、休日は息子と2人で過ごすことがほとんどです。息子と一緒に電車のおもちゃをつくったり、プールにいったり、区の施設に行ったり、ごはんをつくったり、昼寝をさせたり、ママを迎えに行ったりして過ごします。</p> <p>休日に育児ストレスをためても意味がないため、会社の同僚や旧友の家に息子と2人で出かけてバーベキューやお鍋を楽しんだり、プール、スキー、テニス、映画へ連れて行ったりと自分も楽しみながら育児を実施しています。</p> <p>息子の幼稚園ネットワークでパパ会が組織されており、その活動も盛んなため、お互い父親育児の相談を酒を飲みながらしたり、別の日には子供と父親だけが集まって遊んだり、そういった環境にも助けられています。</p> <p>妻が妊娠中ということもあるため、妻のサポートとして炊事洗濯は全て私が実施しています。今後は、第2子の出産のために妻が地方へ里帰りする予定なので、平日も100%育児に従事しなくてはならない2か月となります。そのため、会社の育児サポート制度や、有給休暇を使うことなどを検討し、準備を進めています。</p> <p>私は、フルタイムで働いており、業種としてはいわゆる激務ではありますが、時間の使い方は裁量労働制を採用している会社のため、ワークライフバランスを保つことができます。</p> <p>日本の経済成長の一つのイニシアチブは女性の社会進出であることは間違いなく、それを支援するには父親も育児に参加することが必要であると考えており、自分自身も育児に積極的に関わっていきたいと思います。</p>	